

東京2020オリンピック開催に伴う  
大磯運動公園南側駐車場の利用制限について

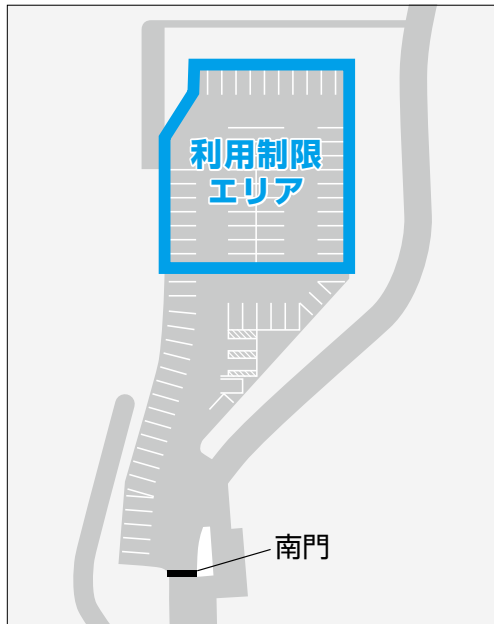
東京2020オリンピック開催に伴い、大磯運動公園の南側駐車場の一部が「ボランティアスタッフ専用駐車場」となります。

公園利用者の皆さんには、大変ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

○期間

7月10日(土)～8月12日(木)終日

○利用制限エリア



問 都市計画課 ☎内線243

大磯運動公園管理棟 ☎(61)8822

東京2020オリンピックセーリング競技開催に伴う  
ご協力をお願い

東京2020オリンピックセーリング競技が江の島ヨットハーバーを競技会場として開催されます。

大会開催期間中は、大磯プリンスホテルがオリンピックセーリング村(選手村分村)として利用されるほか、交通規制や海上の航行自粛の措置が取られますので、皆さんのご協力をお願いします。詳細については、町ホームページをご確認ください。

オリンピックセーリング村の設置について

大磯プリンスホテルの一部が選手村分村となり、選手ら関係者が滞在します。滞在期間中は行動管理が徹底され、外部との接触を遮断するなどの感染症対策を講じていきます。

○開村期間 7月13日(火)～8月7日(土)

交通規制について

会場となる江の島ヨットハーバー付近では通行規制が行われ、国道134号、西湘バイパス、江の島会場周辺の混雑が予想されます。混雑緩和のため、迂回などのご検討、ご協力をお願いします。

○規制期間 7月13日(火)～8月7日(土)

海上の航行自粛について

江の島、逗子、葉山沖合海域が競技エリアとなり、競技艇等の往来により非常に危険です。競技エリアへの接近、同エリア内の航行自粛等について、ご協力をお願いします。

○航行自粛期間 7月15日(木)～8月5日(木)

問 政策課 内線205

こんにちは

栄養士です

もしもの時に備えていますか

「温かい食事が食べたかった」  
「食べ慣れない非常食は口に合わなかった」  
「子どもやお年寄りが食べられるものがなかった」

これらは過去の災害による被災者の声です。

最低3日、できれば1週間分の食品を備蓄しましょう

アルファ化米や缶詰、水などの非常食を備蓄している方は多いと思います。時期によってはスーパーやホームセンターなどにこれらの非常食がたくさん売られています。アレルギー対応なども含め、様々な種類の非常食があり、保存期間も3年から5年、長いものでは10年以上の長期保存が可能なものもあります。

ところで、ご家庭で備蓄している非常食、どんな味があるのか、どんな食感なのか、実際に食べたことはあるでしょうか。被災直後は食事が炭水化物に偏りがちになり、栄養の偏りから体調不良や食欲不振に陥ることがあります。また、非常食が口に合わず、食べるものはあっても食べる気持ちにならないということもあるようです。

非常時であっても体と心を満たす食事をするために、自分に合った食べ物を備蓄することが大切です。

ローリングストックとは

食品の備蓄方法のひとつで、それぞれのご家庭で普段からよく食べる食品(常温保存できるもの)を、賞味期限を考えながら古い食品から消費し、新しい食品を買い足すことで、常に一定量の食品を繰り返し備蓄しておく方法です。

非常食と併せて、ローリングストックをすることで、もしもの時でも日頃から食べ慣れた食品を食べることが出来ます。

みんなの健康に気をつけて用意したいもの

介護用食品、離乳食、アレルギー対応食品、低たんぱく等の特殊食品などが必要な場合は、少なくとも2週間分の備蓄があると安心です。

いつ何が起こるか分からない災害に備えて、各家庭に合った備蓄を見直してみてください。

問 スポーツ健康課 小宮山  
☎内線319